

食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして



**2017年3月期 第2四半期**

**決算説明会資料**

**(2016年4月1日～2016年9月30日)**

**2016年11月11日**



**フジッコ株式会社 (2908)**

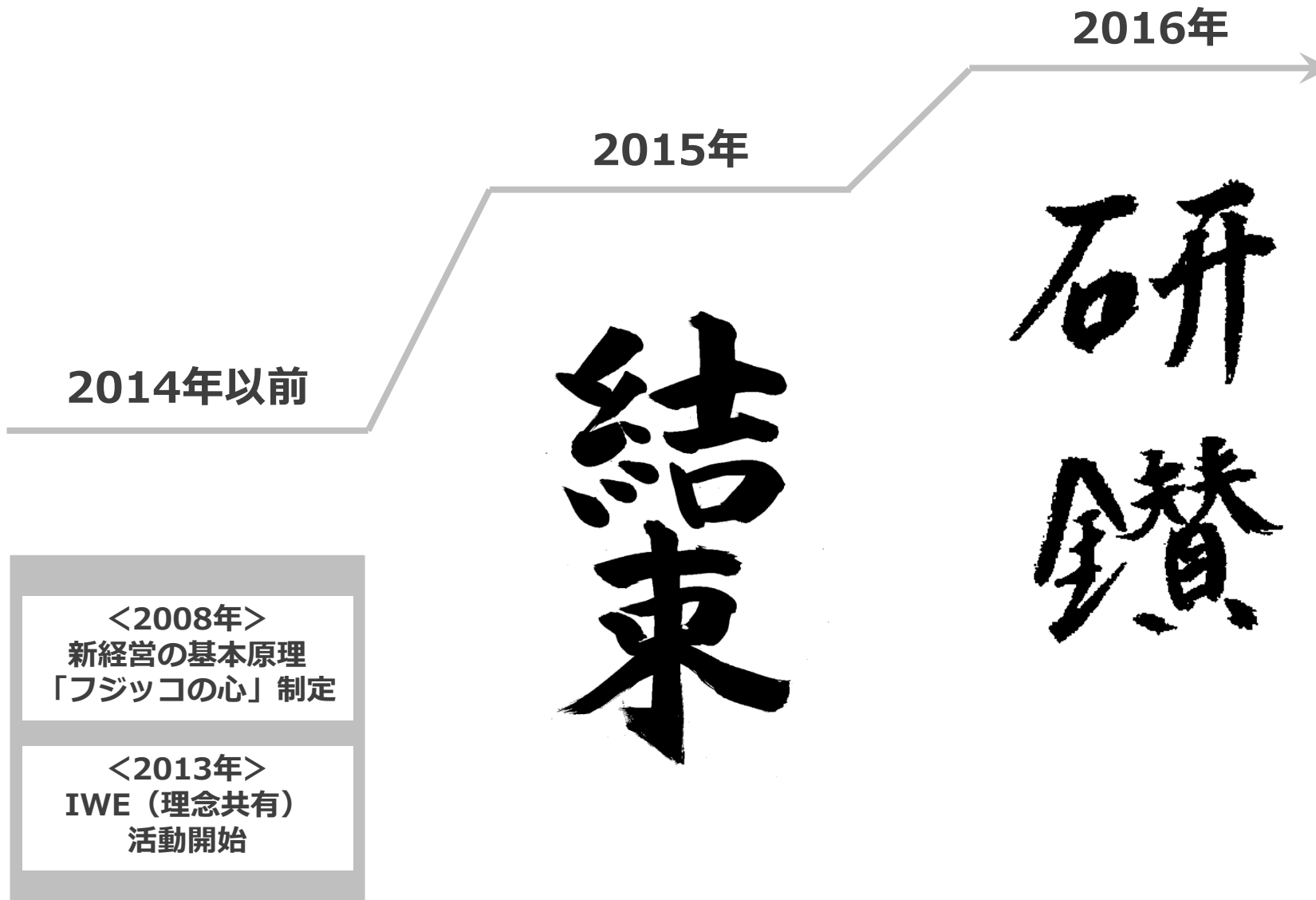
**<http://www.fujicco.co.jp/>**

# 2016年度上半期トピックス

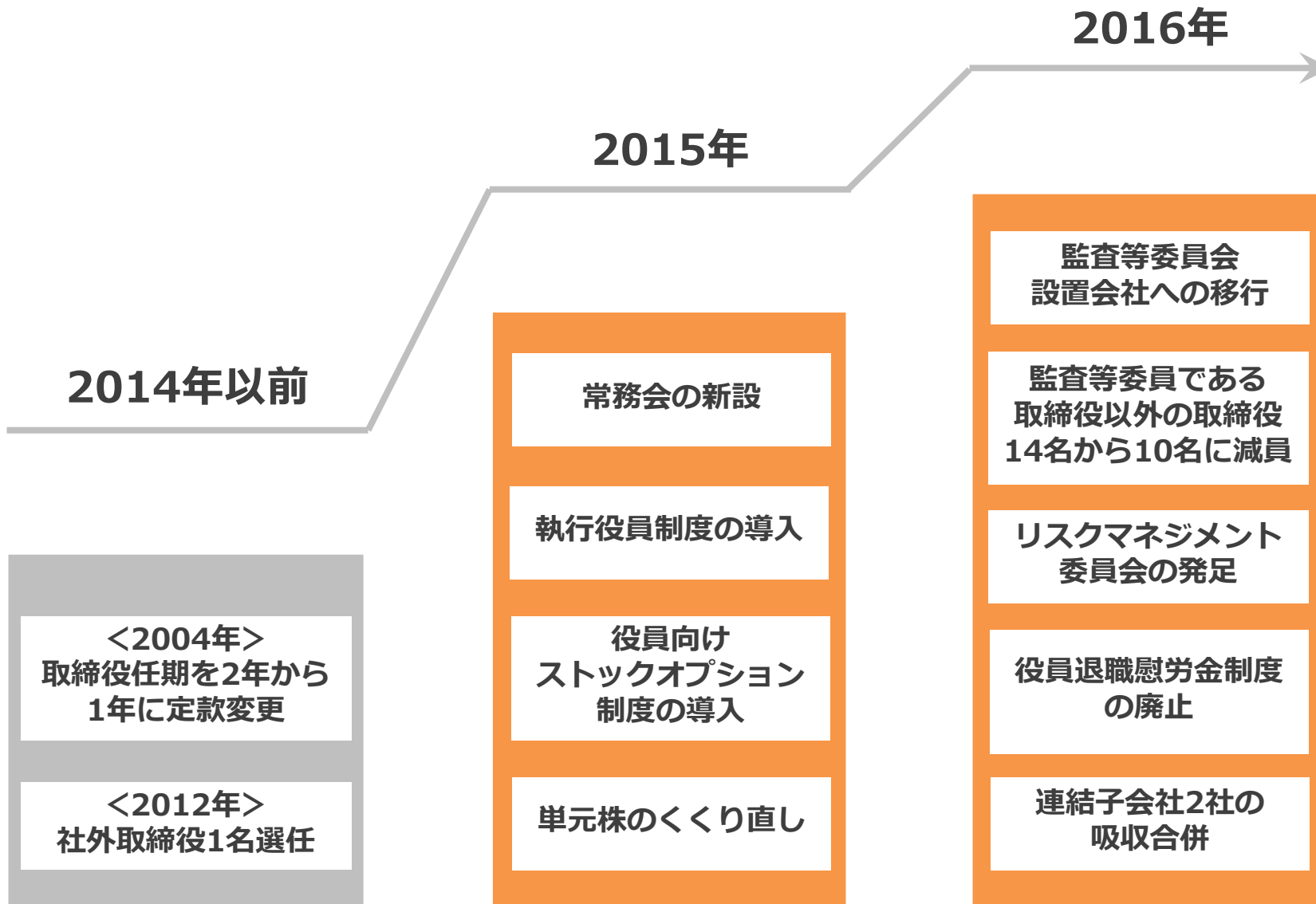
代表取締役社長

福井 正一

# 1. 「結束」から「研鑽」へ



## 2. ガバナンス体制の進化



### 3. 上半期の連結業績



その1

増収増益をキープ<sup>o</sup>（営業利益ベース）

その2

想定どおりの上半期業績

売上高

292.7億円

前年同期比  
2.4%増



営業利益

24.1億円

前年同期比  
1.2%増



経常利益

26.2億円

前年同期比  
1.6%増



四半期純利益

16.7億円

前年同期比  
15.9%減



※ 上記数値は2017年3月期第2四半期累計期間（連結）です。

※ 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。

前期に投資有価証券の売却益を特別利益として計上していたため

# 4. 新・中期経営計画スタート



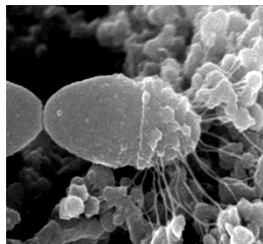
## 中期PPM “選択と集中”で高成長・高収益性の事業形成へ



# 5. ヨーグルト事業 ～ マルチチャネル戦略 ～



## 健康エビデンス研究



乳酸菌



粘り成分



通信販売

量販店

百貨店



2002年



乳酸菌サプリメント市場No.1へ



新サブカテゴリーへ



ヨーグルトライフ提案へ



チャネル拡大





# **2016年度 上期決算概要と通期業績の見通し**

**専務取締役  
経営管理本部長**

**奥平 武則**

# 上期決算概要

# 連結損益計算書（前年同四半期比）



	2016/3期第2Q		2017/3期第2Q		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	28,593	100.0	29,276	100.0	682
売上原価	16,676	58.3	16,840	57.5	164
売上総利益	11,917	41.7	12,435	42.5	518
販売管理費	9,533	33.3	10,022	34.2	488
営業利益	2,383	8.3	2,413	8.2	29
営業外損益	198	0.7	210	0.7	12
経常利益	2,582	9.0	2,624	9.0	41
特別損益	361	1.3	△130	△0.4	△492
税引前利益	2,944	10.3	2,493	8.5	△450
四半期純利益	1,996	7.0	1,678	5.7	△317
1株当り純利益 [潜在株式調整後]	66円09銭 [-]		56円18銭 [56円15銭]		△9円91銭 [-]

※ 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。



### 売上高は増収

営業利益、経常利益は増益をキープ<sup>o</sup>（売上原価率の改善）

四半期純利益は減益（前期は投資有価証券の売却益を計上）

- ◎ 売上高は682百万円の増収（前年同四半期比102.4%）
- ◎ 売上原価率は57.5%、前期より0.8ポイントの改善
- ◎ 販売管理費率は34.2%、前期より0.9ポイントの悪化
- ◎ その結果、営業利益は29百万円の増益
- ◎ 経常利益は41百万円の増益
- ◎ 四半期純利益は317百万円の減益  
前期に投資有価証券の売却益356百万円を特別利益として計上していたため
- ◎ 1株当たり四半期純利益は56円18銭、前期より9円91銭の減少  
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は56円15銭

# 連結製品分類別売上高（第2四半期累計期間）



単位：百万円

	前期 実績	当期 実績	前期比 %	前期差	予想	予想比 %	予想差
惣菜製品	8,908	9,163	102.9	254	9,324	98.3	△161
昆布製品	8,217	8,188	99.6	△29	8,573	95.5	△384
豆製品	6,042	6,196	102.6	154	6,563	94.4	△367
ヨーグルト製品	2,900	3,108	107.2	208	2,753	112.9	355
デザート製品	1,842	1,976	107.3	133	1,931	102.3	44
その他製品	682	642	94.2	△39	653	98.3	△10
合計	28,593	29,276	<u>102.4</u>	682	29,800	<u>98.2</u>	△523

## ◎売上をけん引した品群（前期差）

豆小鉢	+264百万円
日配惣菜	+240百万円
蒸し豆	+221百万円
通販サプリ	+212百万円

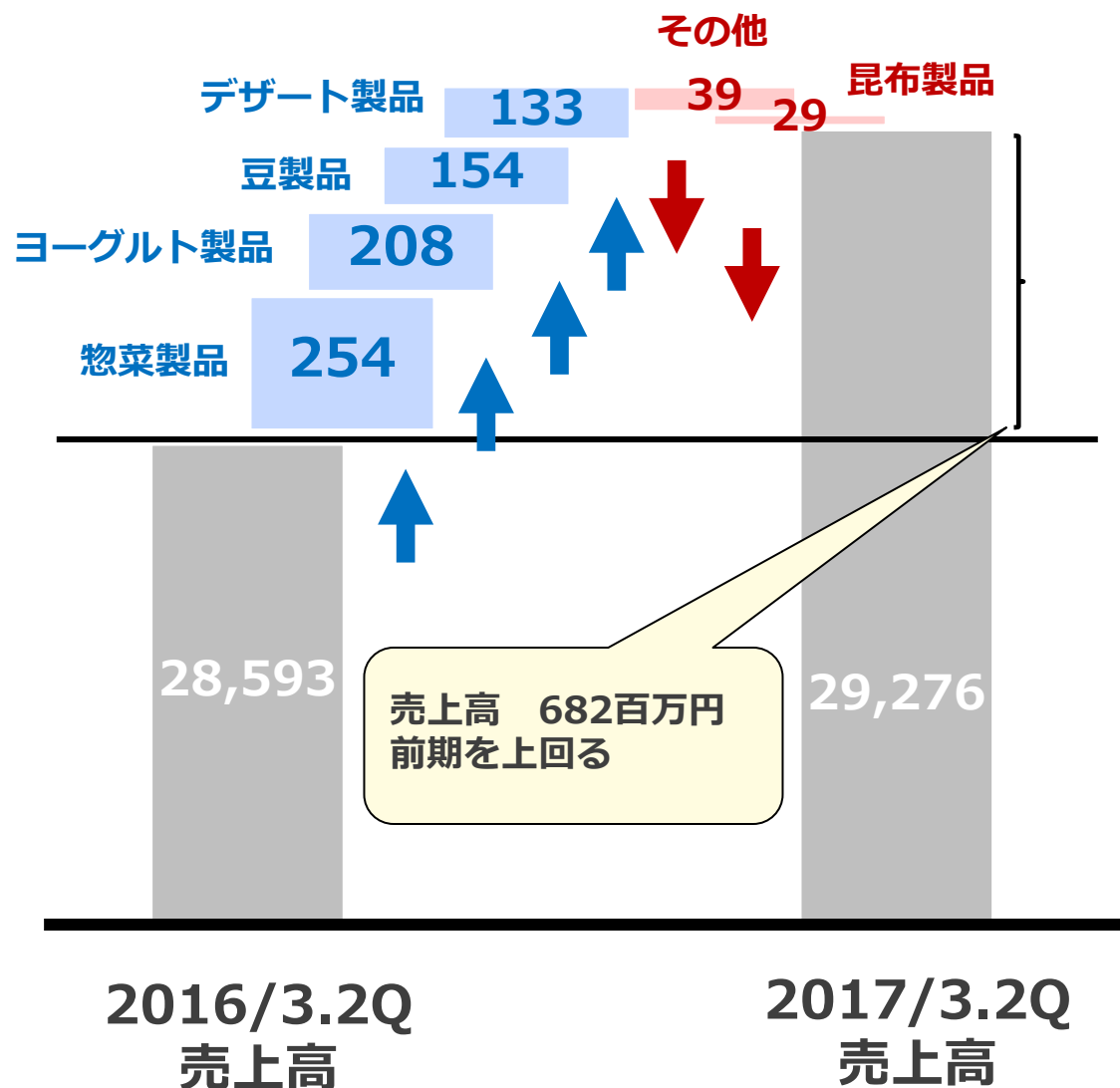
## ◎全体では前期より増収も、会社予想には523百万円の未達

佃煮	△352百万円
煮豆	△229百万円

# 売上高の増減要因分析（前年同四半期比）



単位：百万円



## 【総括】

昆布製品はわずかに前年割れ

デザート製品、ヨーグルト製品  
が大きく伸長

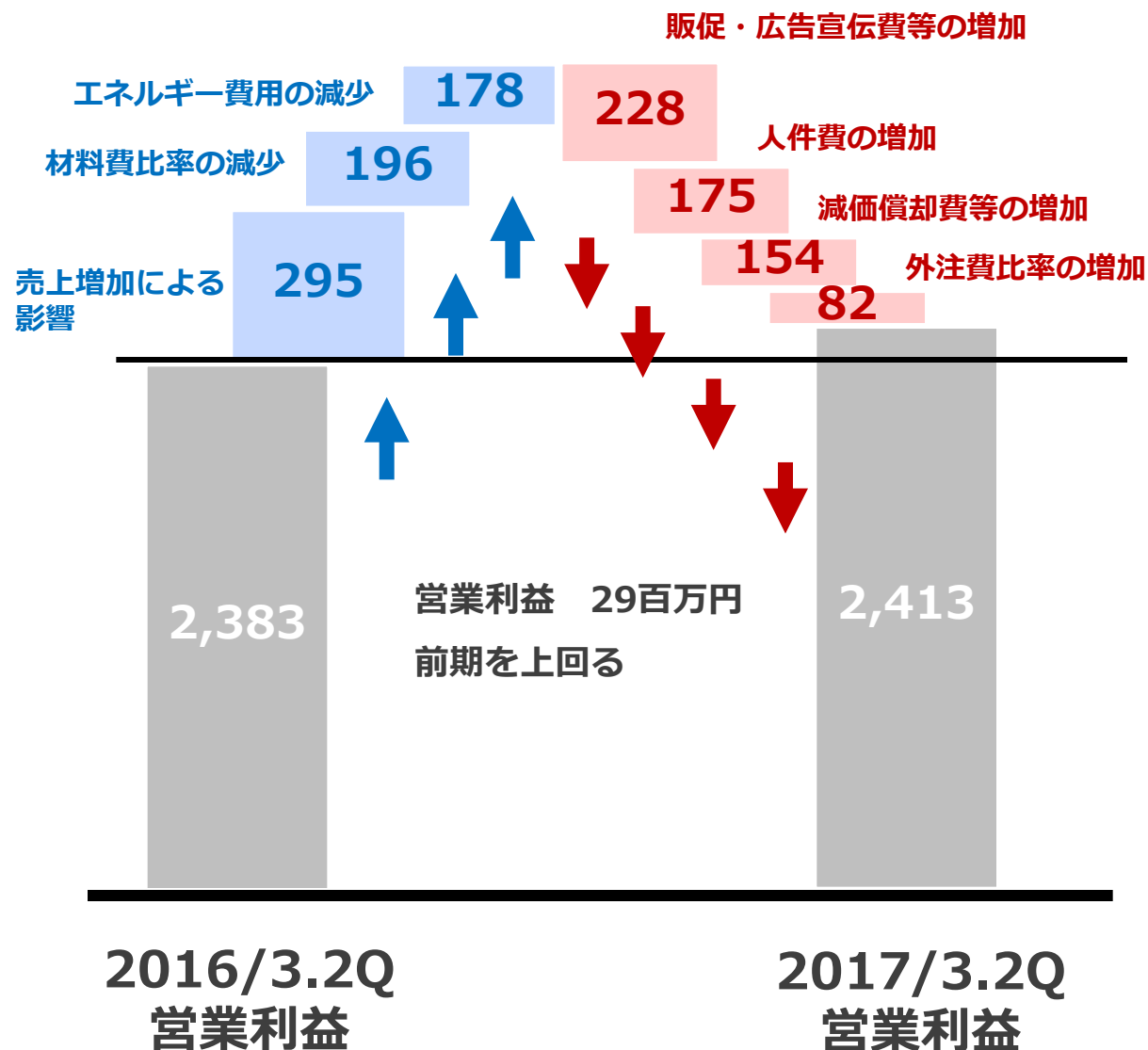
惣菜製品、豆製品が堅調に推移

売上高は前期より682百万円  
上回った

# 営業利益の増減要因分析（前年同四半期比）



単位：百万円



## 【総括】

売上高の増加に加え、材料費比率の減少、エネルギー費用の減少等による売上原価率の改善が進み、営業利益は前期を上回った

## 【増加要因に対するコメント】

- ・売上高は、主に惣菜製品、豆製品の伸長により増加
- ・材料費比率の減少は、主に惣菜製品、ヨーグルトの貢献度が大きかった

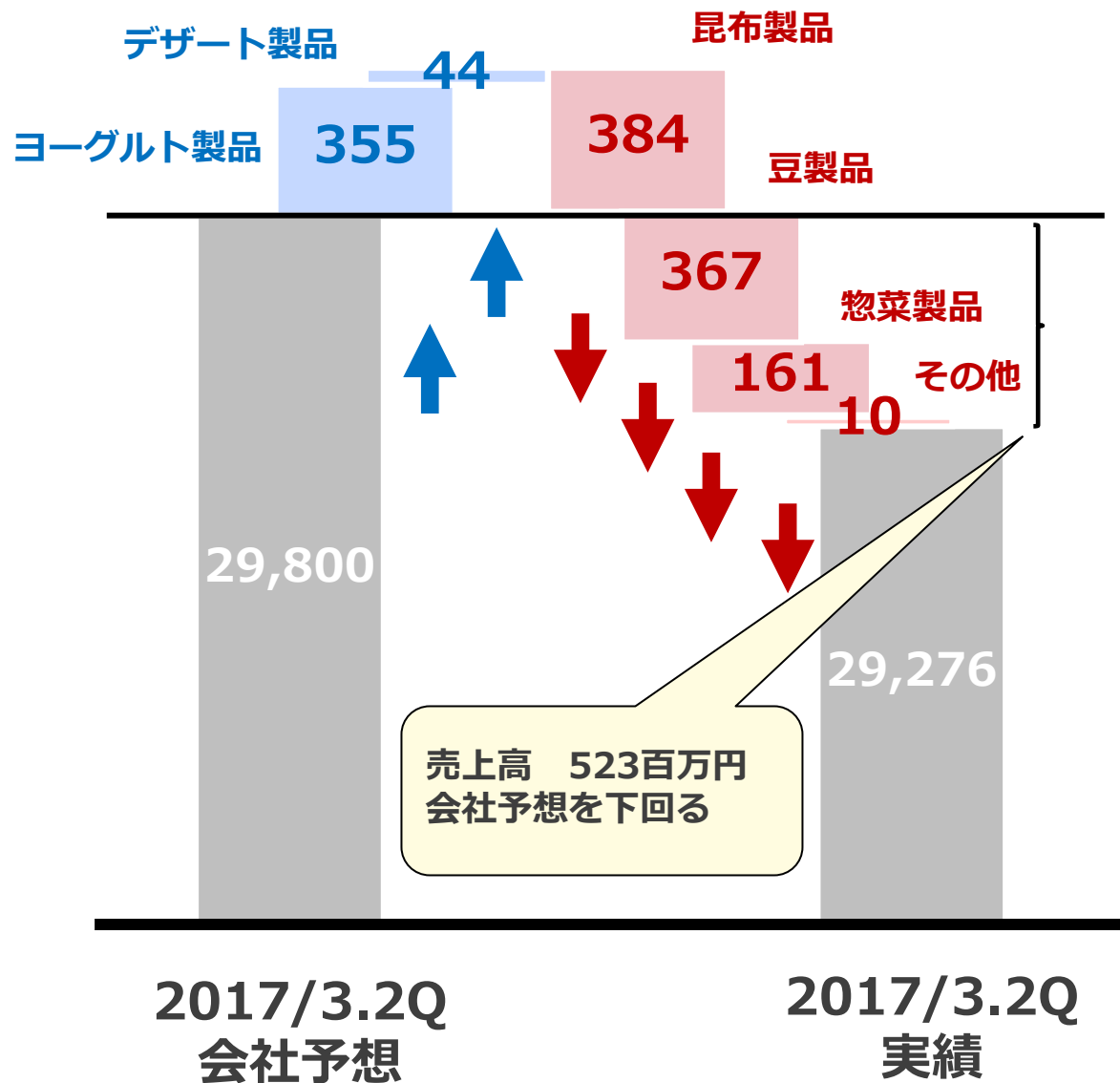
## 【減少要因に対するコメント】

- ・販促・広告宣伝費等の増加
- ・人件費の増加
- ・減価償却費等の増加

# 売上高の増減要因分析（会社予想との比較）



単位：百万円



## 【総括】

ヨーグルト製品は会社予想を上回った

コア事業の昆布製品、豆製品が会社予想を下回った

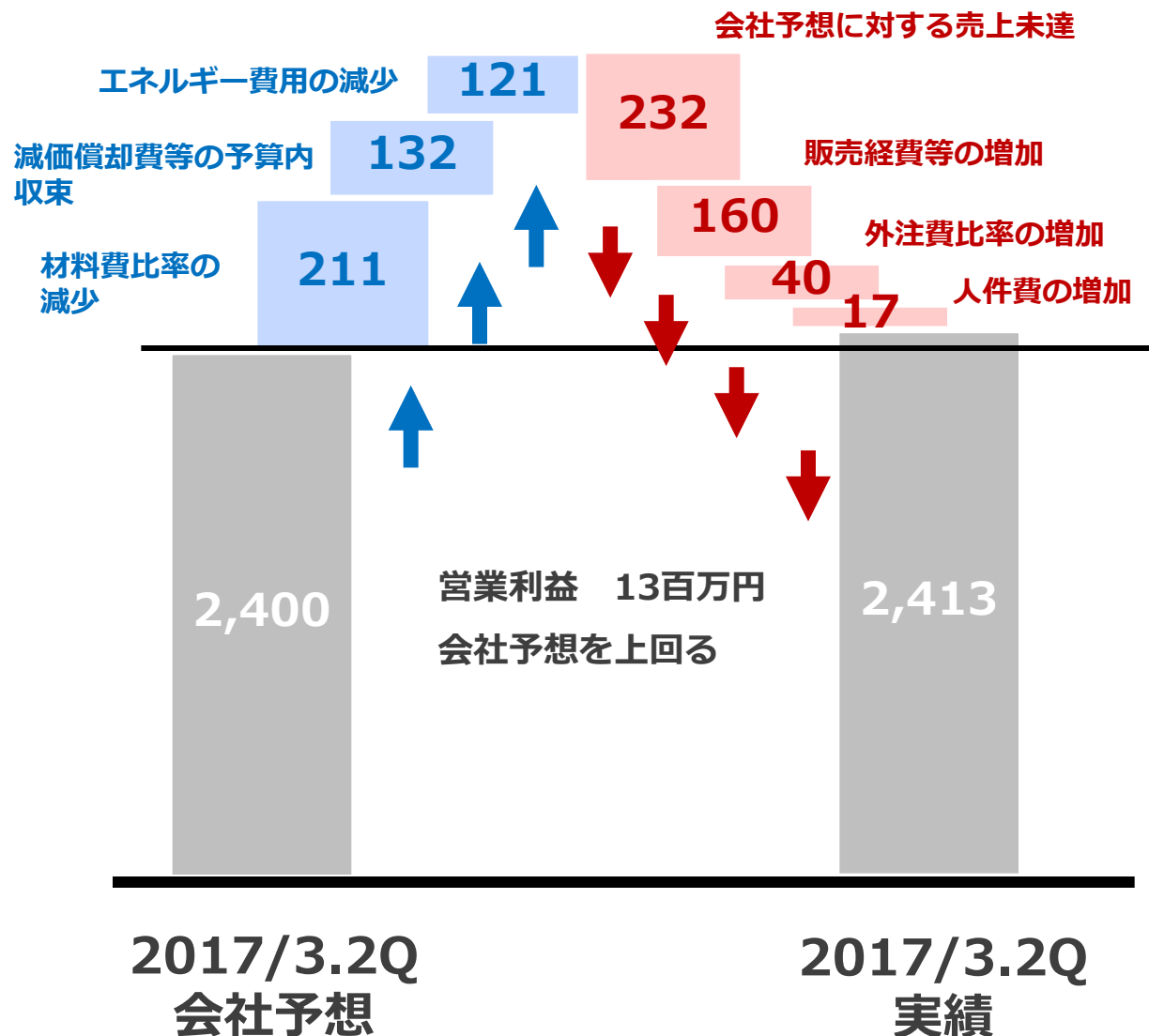
売上高は会社予想より523百万円下回った



# 営業利益の増減要因分析（会社予想との比較）



単位：百万円



## 【総括】

売上高は会社予想に届かなかったものの、材料費比率の減少、エネルギー費用の減少等による売上原価率の改善が進み、営業利益は会社予想を上回った

## 【増加要因に対するコメント】

- ・材料費比率の減少は、主に惣菜製品の貢献度が大きかった
- ・ガス代等のエネルギー費用の恩典

## 【減少要因に対するコメント】

- ・会社予想に対する売上未達
- ・販売経費等の増加
- ・外注費比率の増加

# 連結貸借対照表（前期末との比較）



単位：百万円

総資産 70,003		総資産 71,076	
現預金 13,643	流動負債 9,915	現預金 14,809	流動負債 10,058
	固定負債 1,977		固定負債 1,848
受手・売掛金 8,569		受手・売掛金 9,003	
棚卸資産ほか 7,113		棚卸資産ほか 7,192	
固定資産 40,677	純資産 58,110	固定資産 40,071	純資産 59,169
			（うち新株予約権 58）
2016/3末		2017/3.2Q末	

## 【増減】

総資産 1,073百万円

※総資産の増加は、  
主に現金及び預金の増加による

## 資産の部

- ・ 現預金 + 1,165百万円
- ・ 受手・売掛金 + 434百万円
- ・ 棚卸資産ほか + 78百万円
- ・ 固定資産 △605百万円

## 負債の部

- ・ 流動負債 + 142百万円
- ・ 固定負債 △128百万円
- ・ 純資産 + 1,058百万円

※流動負債の増加は、  
主に買掛金の増加等による



### よかった点

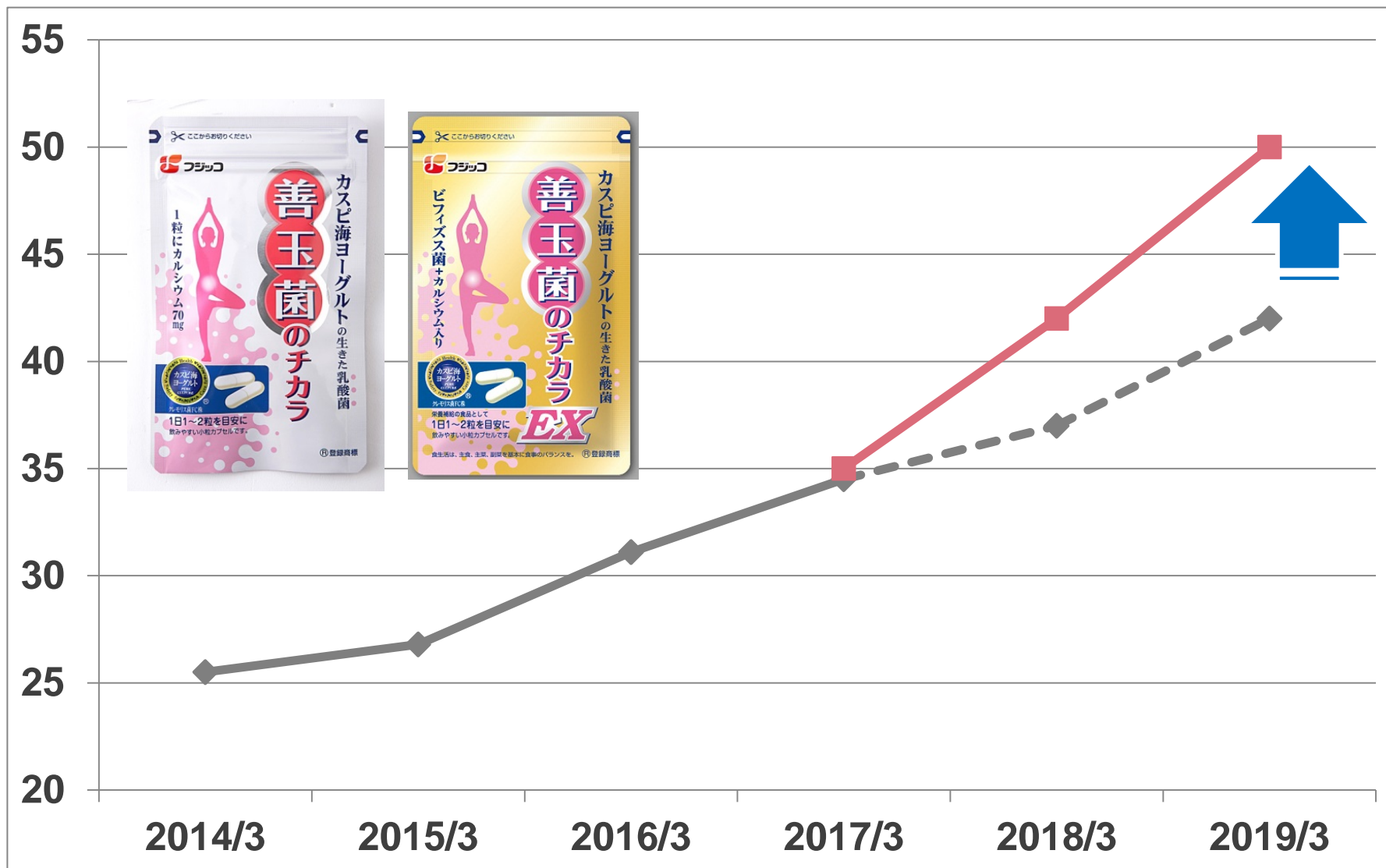
- ◎ 増収増益をキープ！！  
（四半期純利益は減益）
- ◎ 予想以上の売上原価率の改善
- ◎ 伸長著しい通信販売事業  
（売上高17億円・前年同四半期比112.7%）
- ◎ ガバナンス体制の進化（監査等委員会設置会社へ移行）

### 悪かった点

- ◎ コア事業（豆と昆布）の会社予想からの売上未達
- ◎ 社告を伴うリコール1件（ふじっ子大袋）  
製品回収1件（生春巻き）

# 健食通販の乳酸菌市場No.1へ

億円



# 通期業績の見通し

## 1. 12月商戦の成功

【丹波黒黒豆 TVCM】

実施期間：12月24日～12月30日

エリア：首都圏、近畿圏



## 2. 「朝のたべるスープ」の育成

【朝のたべるスープ TVCM】

実施期間：11月1日～11月30日

エリア：近畿圏



## “伝統食を革新する” 小鉢シリーズの拡販

### 【豆小鉢シリーズの変遷】



2006年～2010年  
やわふく

常温化

2010年～2015年  
こだわり煮豆

リ・デザイン

2015年～現在  
豆小鉢

月間平均  
**0.7億円**

月間平均  
**0.9億円**



月間平均  
**1.8億円**



※ 月間平均とは、ピーク売上を記録した事業年度の月間平均売上のことです。

## 昆布

### 【現状】

- ・ 過去最低の2013年（14,931ト）を下回る見通し。
- ・ だし昆布向け道南産原藻が値上がりの見通し。

### 【今期業績に及ぼす影響】

- ・ 在庫等の兼ね合いから影響は軽微

## 豆

- ・ 金時豆  
大減産の見通し。  
小粒化、皮破れ、色流れ等が深刻。
- ・ 黒大豆  
減産が続く、市中在庫のひっ迫状態が続く。

- ・ 在庫等の兼ね合いから影響は軽微

## 野菜ほか

- ・ 生乳  
大きな被害なし。
- ・ 根菜野菜  
被害大きく代替産地で対応済み。

- ・ 代替産地からの供給により影響は軽微



# 連結製品分類別売上高



(単位：百万円)	2016.3 実績	構成比 %	2017.3 予想	構成比 %	前期差	設定率
惣菜製品	18,263	31.1	18,993	30.9	729	104.0%
昆布製品	17,569	29.9	18,082	29.5	512	102.9%
豆製品	13,598	23.2	14,226	23.2	628	104.6%
ヨーグルト製品	4,879	8.3	5,624	9.2	745	115.3%
デザート製品	2,999	5.1	3,043	5.0	44	101.5%
その他製品	1,407	2.4	1,380	2.2	△27	98.0%
合計	58,718	100.0	61,350	100.0	2,631	104.5%

## 取り組み方針

- 惣菜製品 : 日配惣菜の開発体制強化
- 昆布製品 : 顧客視点からの佃煮、ドライ品群の立直し
- 豆製品 : 煮豆「豆小鉢」の継続伸長、蒸し豆のシェアアップ
- ヨーグルト製品 : 通販サブリ「善玉菌のチカラ」の継続伸長  
量販店等向け「カスピ海ヨーグルト」の店頭回転率アップ
- デザート製品 : 発売15周年プロモーションスタート（2017年3月～）



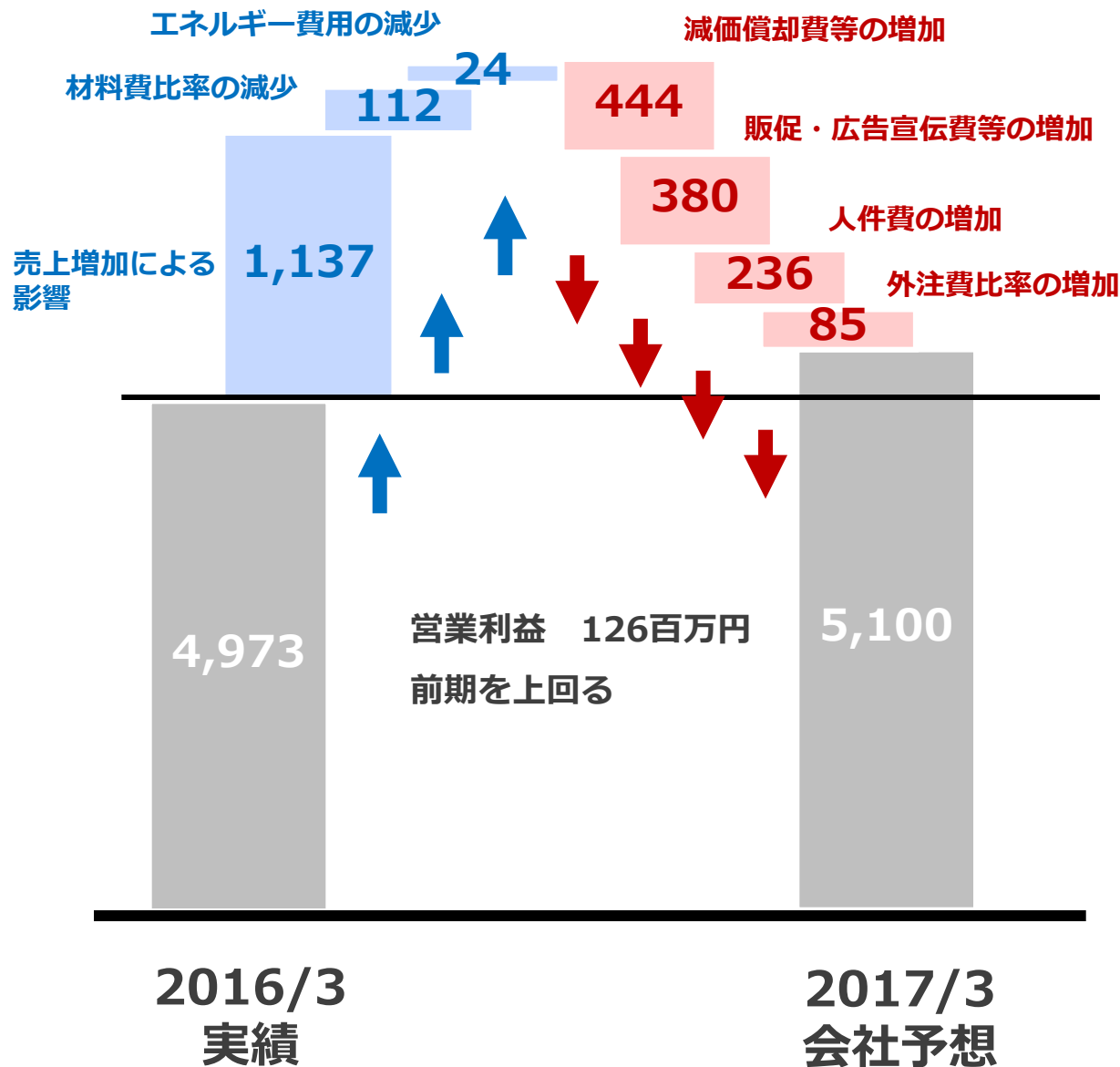
	2016/3期		2017/3期予想		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	58,718	100.0	61,350	100.0	2,631
売上原価	34,510	58.8	36,074	58.8	1,563
売上総利益	24,207	41.2	25,276	41.2	1,068
販売管理費	19,234	32.8	20,176	32.9	941
営業利益	4,973	8.5	5,100	8.3	126
営業外損益	404	0.7	300	0.5	△104
経常利益	5,377	9.2	5,400	8.8	22
特別損益	361	0.6	—	—	△361
税引前利益	5,739	9.8	5,400	8.8	△339
当期純利益	3,920	6.7	3,700	6.0	△220
1株当り純利益	130円45銭		123円86銭		△6円59銭
1株当り配当金	34円 (中間17円)		34円 (中間17円)		—

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

# 営業利益の増減要因分析（前期比）



単位：百万円



## 【ポイント】

### 営業利益率の前年維持を目指す

#### ① 予想どおりの増収

- ・ 伸長している品群を力強く伸長させる

#### ② 売上原価率の前年維持

- ・ 材料費比率の減少
- ・ エネルギー費用の恩典

#### ③ 販売管理費率の前年維持

- ・ トータル販売経費のコントロール



この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営企画部	尾西まで
TEL	078-303-5921
FAX	078-303-5949